

NPO 法人

全日本語りネットワーク

〒376-0045 群馬県桐生市末広町 11-1 JR 桐生駅構内
桐生市民活動推進センター

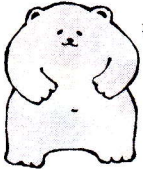
(Fax) 0277-47-4066 (振替) 00130-2-114808

(E-mail) welcome@japankatarinet.jp

(HP) <http://japankatarinet.jp/>

2013. 7. 15 発行

ニュース



NPO 法人として 3 年目がスタート

NPO 法人全日本語りネットワーク理事長 井上幸弘（山形県朝日町）

平成 25 年 5 月 18 日、全日本語りネットワークの総会が武蔵野市民会館で開催されました。2013 年 3 月 31 日現在会員数 277 人、委任状が 143 人、出席が 12 人、合計 155 人で総会は成立しました。議長は遠藤博子さんをお願いし、平成 24 年度事業報告並びに決算報告のあと、平成 25 年度事業案並びに予算案が承認されました。さらに理事・監事改選がありました。これまで、設立時から平成 23 年度まで長い間理事長としてネットワーク活動を牽引してこられた佐藤涼子さんが理事を辞められ、監事に就任されました。こんどは監事として違った立場からネットワーク活動へのご助言をお願いいたします。

全日本語りネットワークは、日本各地の語り手及び語りに関心を持つ個人・団体に対して、その交流を図るとともに、情報の提供に関する事業を行い、語りの文化の向上・普及に寄与することを目的として、平成 22 年 2 月 NPO 法人となりました。その目的を達成するため、「全日本語りの祭り」事業、語りの交流・普及・推進に関する事業、出版・広報活動を行ってきました。その中でも中心の活動となるのが、2 年に一度行われる「全日本語りの祭り」です。

第 11 回全日本語りの祭りは、東日本大震災復興を願って、昨年の 10 月 4・5 日岡山県倉敷市で 1,800 名の参加者のもと盛会のうちに終了しました。全国各地から集まってこられたみなさんから多彩なお話が語られました。閉会式で肩を組みながら「きょうの日はさようなら」を歌ったみなさんの顔は充実したものでした。

次回の 12 回大会は平成 26 年 9 月 27 日（土）から 29 日（月）まで、宮城県南三陸町で行います。町の防災センターで女性の町職員が最後まで避難を呼びかけ、とうとう津波に飲み込まれて亡くなったことが、震災直後繰り返し報道されました。がれきが撤去されたあとも、防災センターは津波被害の象徴のように残り、花が手向けられております。宿泊先のホテル観洋も津波の被害をうけました。そこを会場にして 2 泊 3 日の全日程参加、300 名定員で行う予定です。

津波で町の中心部が根こそぎ破壊された南三陸町。復興にはほど遠いのに、報道されることも少なくなった被災地をみなさん是非訪れてください。そして被災地を自分の目で見て、自分の言葉で周りの人たちに東日本大震災を語っていただきたいと思います。今年の 10 月には理事のメンバーが現地を訪れ、具体的に内容を詰めていきたいと計画しております。

全国各地で活動されている仲間のみなさん。全日本語りネットワークのスローガンである「語る喜びと聞く楽しみをわかち合おう！今、大切に伝えたい、語りの世界」を大切にしながら、語りの文化の向上・普及を目的に活動していきましょう。9 月 7 日（土）には埼玉県蕨市立文化ホールで第 17 回楽習会「地球の仲間たち」を行います。是非ご参加ください。

